

H25・前期学期・マクロ経済学Ⅰ・期末試験

岡村 與子

2013/07/30

注意事項:

- ① 問題は両面に印刷されています。すべて解答してください。
- ② 試験時間は1時間です。**携帯電話電源を切ってください。**アラーム・クロックなどは鳴らないようにセットしてください。
- ③ 筆記用具・電卓(**携帯電話の電卓機能の利用は不可**)・定規 以外の所持品は、空いている椅子のなどにおいてください。それ以外のすべてのノート・教科書などの参照は不可とします。
- ④ 計算問題では、最終的な解答のみでなく、途中の計算過程も、思考過程が分かるように書いてください。最終的な解答のみの答案には配点されません。
- ⑤ グラフや図を描く問題では、曲線が表す関数や座標軸で測る変数などを、定規などを使って丁寧に、分かりやすく示すこと。“形状だけ正解”の図には高い配点はされませんので気を付けてください。
- ⑥ 試験終了後、問題は持ち帰ってください。

【平成 25 年度・前期学期・マクロ経済学 I・期末試験】

【多肢選択問題】

☆【問 1】～【問 4】は多肢選択問題です。最も適当な選択肢を一つだけ選んで解答欄に記入してください。(各 10 点)

【問1】 貨幣供給について最も適当なものを一つだけ選びなさい。

- (ア)貨幣供給量は国会によって決定される。
- (イ)貨幣供給量は、直接はコントロールできず、当局はベースマネー(マネタリーベース)をコントロールする。
- (ウ)マネタリーベースは通常、消費者によって決定される。
- (エ)マクロ経済モデルでは、貨幣供給量は右上がりの曲線として表される。
- (オ)上の (ア) ～ (エ) すべてが誤っている。

【問2】 中央銀行と中央銀行の政策ツールについて、次の選択肢のうち最も適当なものを一つだけ選びなさい。

- (ア)中央銀行が公開市場操作で、買いオペを行った場合、市場において通貨(お札)を買い上げ、市中に出回る貨幣を減らすため、一般的な利子率は下がる。
- (イ)中央銀行は、政府の銀行であり政府の各省庁や期間のみ口座をもつことができる。
- (ウ)中央銀行は、国民の銀行であるため、日本銀行には日本人であれば誰でも個人口座をもつことができるが、外国人は持つことができない。
- (エ)中央銀行の法定準備率は、銀行が市中から集めた預金のうち一定の割合を中央銀行に預け入れておくことを定めた制度である。法定準備率を下げると、市中に貸し出せる貨幣が増えるため貨幣供給が増える。
- (オ)上の (ア) ～ (エ) は全て誤りである。

【問3】 財の市場における乗数効果について次の選択肢のうち最も適当なものを一つだけ選びなさい。

- (ア)ある経済において、限界消費性向が 0.7 である場合には、単純乗数は 4 となり、政府が独立な財政支出を 200 億円拡大した場合には、800 億円分の需要が生まれる。
- (イ)ある経済において、限界消費性向が 0.7 である場合には、一括税の乗数は単純乗数よりも大きくなる。
- (ウ)均衡予算乗数は 1 である。
- (エ)乗数効果により、民間の限界消費性向は上昇する。
- (オ)上の (ア) ～ (エ) すべてが誤りである。

【問4】 債券と債券価格について次のうち最も適当なものを一つだけ選びなさい。

- (ア)債券価格は利子率とは負の関係にある。
- (イ)債券価格はクーポン価格と負の関係にある。
- (ウ)債券とは、所有者が会社に出資した証書である。
- (エ)債券価格は、企業の従業員数と正の関係にある。
- (オ)上の (ア) ～ (エ) はすべて誤りである。

【論述・計算問題】

☆【問5】～【問6】は計算論述問題です。解答用紙の与えられた範囲で解答してください。
(各 30 点)

【問5】ある企業が3件の投資案件（投資プロジェクト）A、B、Cを抱えている。これらのプロジェクトに関して次の表のようにキャッシュフローの予定が判明している。この3つの案件と、この企業の投資需要について後の設問に答えなさい。（小数点以下第4位で四捨五入して求めること。例として、 $\rho = 0.09125$ ならば、 $\rho = 0.091$ とし、内部収益率は9.1%となる。）

(単位：万円)

プロジェクト名	初期投資額 (－)	1 期目、期末の収益額	2 期目、期末の収益額
A	100	50	55
B	80	35	55
C	120	100	25

- (1) 各プロジェクトの内部収益率（投資の限界効率）を求めなさい。
- (2) (1) で求めた内部収益率をもとに、内部収益率の高い投資プロジェクトを並べなさい。
- (3) この企業の投資の限界効率関数（階段状の関数）を図に示しなさい。縦軸に内部収益率、横軸に投資額を取る。（「階段」の横方向の幅が初期投資額になるように図を描くこと）
- (4) 今、市場の一般的な利子率が2%である場合、この企業はどのプロジェクトに投資するか述べなさい。また、投資総額はいくらかになるか？

【問5】 次のように一般均衡モデルが与えられている場合、について後の問に答えなさい。

$$\text{総需要関数： } AD = C + I + G$$

$$\text{消費関数： } C = 80 + 0.7Y_d$$

$$\text{投資需要関数： } I = 90 - 1000r$$

$$\text{貨幣需要関数： } M_d = 120 - 2000r + 50Y$$

但し、 Y は総所得、 r は利子率、 G は政府支出である。

- (ア) 今、貨幣市場を無視して（つまり、貨幣供給、貨幣需要関数は考えないでよい）、利子率が外生的に 1% ($r=0.01$) であると仮定した場合について投資需要量を（投資需要関数を使って）求めなさい。
- (イ) 今、 $G=50$ であり、税が一括税で $T=20$ と所与で与えられているとする。また、(ア)と同様、貨幣市場を無視した場合、経済の均衡所得はいくらになるか計算しなさい。但し、 I は (ア) で求めた量であるとする。
- (ウ) (イ) でもとめた均衡所得における貨幣需要関数を求めなさい。（ r は答えの数式に残ります。）
- (エ) 今、政府支出が 60、一括税が 15、貨幣供給 (M_s) が 40 である場合について、この経済の IS 関数と LM 関数を求めなさい。
- (オ) (エ) の結果を用いて、この経済における財の市場と貨幣の市場を同時に均衡させる、均衡利子率と均衡国民所得を求めなさい。